イマデガワでイチバンの地域情報誌

イマ＊イチ

TAKE FREE

2025
5
N.103

気ままな姿が
にゃんとも愛おしい

猫特集

特集 猫

京都の町を歩けば、寺院でくつろぐ猫や、
地域に見守られながら歩く「まちねこ」たちの姿に出会えます。
そんな猫たちに着目し、５月号のテーマは「猫」。
京都ならではの猫スポットをご紹介します！

目次

特集「猫」
p02　古書と茶房　ことばのはおと
p03　Cafe&Bar MOCHI MOCHI
p04　nekonohige cake studio
p05　広布山　本満寺
p06　連載「これがキョウジュの生きる道 2025」
p08　おしえて！私のクラブ・サークル紹介
　　「F.B.I.」「同志社交響楽団」
p10　出張版スポーツアトム
p12　文化系公認団体 EVENT スケジュール
p14　WOT・CT
p16　レポート
　　「能登半島地震
　　被災地支援ボランティアプログラム」
p18　CAMPUS INFORMATION
p19　上京区内イベントのお知らせ
p20　編集後記・読者プレゼント

古書と茶房 ことばのはおと

■猫と本に包まれる時間

猫の暖簾をくぐり、靴を脱ぐ。右手の引き戸をそっと引くと、真正面には大小さまざまな招き猫たちが並んでいる。窓辺の席は瑞々しい緑に彩られ、奥には町家ならではの坪庭が静かに佇む。ここ、「古書と茶房ことばのはおと」は、一人きりの時間をじっくりと楽しめる場所だ。小さな子どもの入店は制限され、会話は最小限にという店独自のルールにもその思いが込められている。所狭しと並ぶ書籍は店主の中村夫妻の私物だけでなく譲り受けたものも。雑誌や漫画、異国の本とジャンルも多岐にわたる。「座ったその瞬間目の前にある本との出会いを楽しんでほしい」と中村さんは話す。

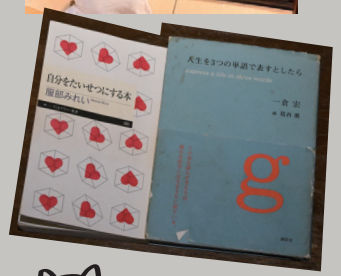
■季節仕立ての猫スイーツ

今回ご紹介するのは、看板メニューの「にゃんこパフェ」（1250円）。ちょこんとのった猫アイスはつぶらな瞳でこちらを見つめ、巳年にちなみ添えられた蛇のメレンゲが目を引く。細かく作られた猫耳やぴょんと飛び出たような小さな前足も愛らしく、思わず一口目をためらってしまう。パフェグラスの背は高いが、ヨーグルトムースのさっぱりとした甘みで最後の一口まで飽きを感じさせない。

プレートごはんもあるよ

■不思議で愛しい、猫の魅力

猫の魅力について尋ねると、中村さんは少し笑って言った。「一緒に暮らしてみると、ハマるんですよ、猫って」。かつての飼い猫は最期のとき、猫特有の飼い主に感謝を伝えるような仕草を見せたそう。「あの姿には、自分の運命を受け入れる潔さがある気がして。なんて素敵な生き方だろうって」。別れは寂しいものだが、生き物と過ごす時間には、「一本の映画を見終えたような感動がある」とも。店の随所にちりばめられた、深い猫への愛情。あなたもぜひ一度、感じてみてほしい。



中村さんセレクトの「大学生におすすめな本」

about the shop

■店舗情報

営業時間　11:30 ~17:00 L.O. 16:30
定休日　月・火曜日（※祝日の場合は営業）
電話番号　075-414-2050
〒 602-0087
京都市上京区天神北町 12-1
アクセス
京都市バス９号系統
「天神公園前」駅下車　徒歩３分

Cafe&Bar MOCHI MOCHI

■店舗情報

営業時間　カフェタイム 11:00~18:00
　　バータイム 18:00~24:00
　　(LO フード 23:30、ドリンク 23:45)
　　最終入店可能時間 23:00
定休日　水曜日
電話番号　050-3695-5625
〒　602-8157
京都市上京区小山町 880 ピアージュ 1F
アクセス　JR 二条駅より徒歩 10 分
テイクアウトメニューあり

※猫カフェではありません。
おもちくんときなこくんは店内で自由気ままに過ごしているため、触れ合うことができるかどうかは彼らの気分次第。

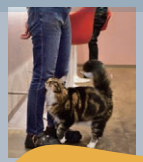
京都上京の千本通。二条城のほど近くをぶらり歩くと目に入るのは、開放感のあるガラス張りのお店。中をのぞくと、ハンモックでくつろぐ毛並み豊かな猫が。

「Cafe & Bar MOCHI MOCHI」は、少し小心者だが好奇心旺盛な副店長のおもちくんと、ソファでお昼寝をするのが大好きなきなこくんとともに店長が営むカフェ・バーだ。

お店に入ると、ふわりとあたたかな雰囲気が出迎えてくれる。店内の壁には、常連の方が描いてくださったというおもちくんそっくりな絵が掛かっている。カウンターにはおもちくんがモデルの、こちらもお客様からのぬいぐるみ。地元の方に愛されているということがよくわかる。

今回取材でいただいたのは、「ふるるんたまごのデミソースハンバーグ」。ジューシーさにこだわった完全手ごねのハンバーグに、かわいらしい猫型の半熟目玉焼きが乗っている。いざナイフで弾力たっぷりの卵を切ると、中からとろりと黄身が溢れ出す。お米との相性も抜群だ。デザートメニューで人気なのは数種類ある「にゃんこパンケーキ」。中でも圧倒的に好評なのは「チョコバナナにゃんこ」だ。特注の焼き型を使ってふわふわに焼き上げられたパンケーキは、海外からのお客様にも大人気。ホットドリンクのカフェラテには、店長がかわいらしい猫ちゃんを描いてくれる。「席に届けた時のお客様の歓声がとてもうれしい」、と店長はにこやかに語る。

雨の日も風の日も、おもちくんは窓辺で外の人々を見守り、きなこくんはのんびりとお昼寝をしている。街から変わらず愛されるこの場所へ、ぜひ足を運んでみてほしい。



ふるるんたまごのデミソースハンバーグ（１３８０円）
※18 時以降は価格変動あり

nekonohige cake studio

「猫」まみれのお店

猫のシルエットをかたどった土輪の横、引き戸を開ければすぐにショーケースがある。その中に並ぶのは、ボリュームたっぷりのサンドイッチやケーキ、焼き菓子。「nekonohige cake studio」は、週2日だけオープンするお店だ。こぢんまりとした店内の壁に立てかけられた絵本の表紙には、全て猫が描かれ、棚には猫や魚の形のクッキーの他、ハンドメイド作家の方の猫の作品も並ぶ。インスタグラムではおいしそうな商品の紹介に交じって自宅や近所の猫が時折顔をのぞかせることも。

キャロットケーキ（330円）

にぎやかなショーケース

店名にケーキスタジオとあるが、ケース中段のサンドイッチ達もなかなかの存在感。店主に伺ったところ、フードのラインナップのほうがやや豊富なのは開店当初からだという。はじめは軒先で販売していたが、玄関先の台所をDIYで改装し、ショーケースを設置したことでケーキの販売も始めたそうだ。最近の人気はキャロットケーキ。様々なキャロットケーキを楽しむ「キャロ活」ブームの影響か、問い合わせが入ることも多いとか。猫愛にあふれた店内のソファでいただいた。油っぽさのない中身のぎゅっと詰まった優しい味わいの生地は、上に乗せられた厚すぎないフロスティングと相性ばっちり。4種のスパイスとラムレーズンが品良くまとまっている中で、たっぷりのくるみの食感が効いている。キャロ活初心者にもおすすめの逸品だ。ケーキの他、「わんぱくサンド」をはじめとしたボリュームたっぷりのサンドイッチや焼き菓子、一口大のサイズのおにぎりもある。店内で一息つくもよし、自宅で豪快にかぶりつくもよし。出町柳駅からすぐの1軒へ、ぜひ足を延ばしてみてほしい。

nekonohige cake studio

●住所
〒602-0827
京都市上京区出町桝形相生町 102

●電話番号
090-7488-5944

接客中など出られない場合もございます。
その際は留守電にメッセージをお願いします。

●定休日
火～土曜日

●営業時間
11:00~15:00

●アクセス
京阪出町柳駅から徒歩 8 分

広布山 本満寺

ひっそりと佇む桜とお寺

出町柳駅から歩いて8分ほど、桝形商店街を抜けた先にある本満寺（ほんまんじ）。周囲の住宅地に馴染んだそこは、一歩踏み入れると少し「結界」のようなものを感じる。ほんの少しだけ、現実から隔絶されたような世界。入って左にあるしだれ桜は樹齢90年にも及び、毎年春には見事な花を咲かせる。他にも牡丹や、3月ごろには小ぶりな梅、秋には紅葉も見ごろになる。

四季のそばを猫が歩く

ひときわ静かな境内を歩くと、一匹のトラ柄の猫が目の前を通りがかった。小走りに駆け抜けたその猫は、顔見知りであろう地域住民の方に撫でられたのち、日当たりのよい場所で耳の裏をかいている。少し進めば、今度は黒猫が器用に壁を登って行った。

地域猫の休憩場所でもあるここは、室町時代からの歴史を誇る日蓮宗のお寺。天文法難により一度大阪堺へ避難したが、1539年には現在の地へ再建。後奈良天皇の勅願所だ。1751年に八代将軍である徳川吉宗への病気平癒祈願が大きく効果があったとされ、それ以来将軍家の祈願所となり、さらに栄えたという。

春夏秋冬、四季折々の顔を見せる本満寺は、今も京都の行楽時期を彩っている。その色とりどりの季節の移ろいのそばで、猫は今日もそそろ歩く。

広布山 本満寺

●所在地
〒602-0802
京都市上京区寺町通今出川上る 2 丁目鶴山町 16

●電話番号
075-231-4784

●受付時間
御朱印受付　10:00-12:00 / 13:00-16:00

●アクセス
京阪出町柳駅から徒歩 12 分

●拝観料
無料

普通じゃなくたっていい ただ自分が納得できる道を

2025 これがキョウジュの生きる道

2025年イマ＊イチ連載企画「キョウジュの生きる道」のトップバッターを担うのは、経済学部経済学科に所属し、歴史的な視点から経済学を研究する大谷実先生。ヨーロッパの近現代史を専門に扱う大谷キョウジュの研究室には、日本語だけでなく英語、ドイツ語の文献が壁一面にずらりと並んでいる。そんな重厚感ある部屋の雰囲気とは裏腹に、終始穏やかな表情を見せるキョウジュの人生について深堀りしていく。

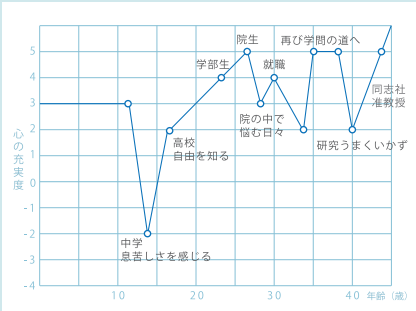
自由を知った学生時代

大谷キョウジュにとって中学から高校、大学と学生生活を過ごす中で最も大切であったことは「自由」であったという。

地元の顔見知りばかりが通う中学校に進学したときに、大谷キョウジュは代わり映えのない自身の生活に退屈さや閉塞感を感じていた。しかし、高校に進学したことでキョウジュの感情は一変する。「自由」を体現したような高校生活は、見るものや触れるもの、出会う人のすべてが新しい。そんな校風の中で過ごしたことで「自由であることが身についた」と語る大谷キョウジュ。大学においても自分自身が自由であることを特に大切にしていたという。

そしてキョウジュが歴史学に興味を持ち始めたのも高校時代からだ。現在のキョウジュの研究テーマと同じ、つまり近現代ヨーロッパの歴史に惹かれ、大学進学の指針となったという。そうして入学した上智大学文学部史学科では念願叶ってドイツ近代史を研究する先生のゼミに入った大谷キョウジュ。しかし、そこでの研究は想像以上に難しかったそうで「初めからずっと分厚い研究書、しかも英語で書かれている本を読んだり、ドイツ語の資料を読み解いたりしていてすごく大変だったことは覚えています」と苦笑交じりに振り返る。「ただ、忙しかったけれどその分やりがいとか、歴史研究っておもしろいなってさらに感じるきっかけにもなって明確に大学院を目指し始めました」と記憶の中の大学生活を語ってくれた。

大谷キョウジュの人生グラフ



今に通じる学生時代の出会い

大谷キョウジュの研究は、20世紀のヨーロッパ（特にドイツ）におけるマイノリティと社会の関係について、当時の史料を使って明らかにするというものだが、そのことに興味を持ち始めたのは学部生時代からだという。この話題について書かれた一冊の本に衝撃を受けたキョウジュは興味の赴くままその分野を深めようとした。しかしながら当時の日本では研究が進んでいなかったことから、所属するゼミの教授に止められさえしたという。その言葉通り研究は困難を極めたものの、キョウジュの熱意は弱まることなく大学院を修了した今でもキョウジュの研究テーマの中心となっている。英語やドイツ語の文献ばかりで歴史研究の難しさを痛感したと語るキョウジュに、それでもなおこのテーマを探求し続ける理由を問うと、キョウジュは少し笑いながら答えてくれた。「はじめは止められた分ちょっと意地になってやってたんですけどね。日本ではなかなかこの分野の研究が進まないから、今はこの世界に来る人が少しでも増えたらいいなという思いで日々過ごしています。」

忘れられない学問の道

修士課程修了後は一般企業に就職した大谷キョウジュ。学生時代に培った英語やドイツ語の能力を生かしながら仕事をしていたものの、学問を学んでいた際に感じた楽しさややりがいを上回るものになかなか出会えず、再び研究者としての道を歩むことを決意した。そこで同志社大学大学院経済学研究科の門を叩き、学問に囲まれる生活を取り戻したことで得られた満足感がいかに大きかったかは、キョウジュの人生グラフで垣間見ることができる。キョウジュは自分の突き詰めたいことをのびのびと探求できる環境に身を置いたことで改めて自身の人生に「自由」が必要なのだと再認識したと語った。

大学生に伝えたいこと

「もっと好きに生きていい」

少し悩みながらもそう口にした大谷キョウジュ。その真意を問うと「周りと合わせなくちゃ、目立たないように、と大学生活を過ごしてしまうのはもったいないと思うんですよ」とひとつひとつ言葉を選びながら話を続ける。

「少しでも自分の興味があることとか、突き詰めてみたいと思う何かを見つけてみてほしい。きっとそれがその人の人生の拠り所となって、生きる意味につながると思うんです。」

キョウジュにとって大学時代に受けた歴史への衝撃が今もなお人生の道しるべとなっているように、現代を生きる大学生にも自分の原点となる何かを見つけるために今を大切にしてほしいという。「まずは自分の心の声にちゃんと向き合ってみて。普通じゃなくたっていいんです。ただ自分が納得できる道を模索して生きてください」こうキョウジュが自身の本音と対話する大切さをかみしめるように語るのは、様々な環境を経験してその重要性を知っているからだろう。日々を忙しなく過ごす中で、自分のことをじっくりと考えるために少し足を止めてみるのはいかがだろうか。

tell me!!

おしえて！ 私のクラブ・サークル活動

5月号はF.B.I.と同志社交響楽団をご紹介！
どんな活動を行っているのかのぞいてみましょう！

F.B.I.

F.B.I.――と聞けば、多くの人は某捜査局を連想するのではないだろうか。かくいう私もその一人だ。しかしながら今回取材したこのサークルの名前は「Fashionable B級 Intelligence」の略称である。現在の活動内容である映画製作に加え、1979年に創部後しばらくは音楽活動やミニコミ（小規模な出版物）制作も行っていたというF.B.I.。その実態を伺った。

◀カチンコと撮影用カメラ

▶過去作ポスター

■活動の魅力

F.B.I.での映画製作の一番の魅力は「色々なレベルの人が一緒に参加できて楽しめること」と長谷川さん（3年生）。撮影現場では仕事がいくらでもあり、初心者から演劇経験者まで誰もが貢献できるという。経験の有無にこだわらず、むしろ活動の中で経験を積んでいけると語る笑顔からは、F.B.I.の懐の深さが垣間見えた。

▼F.B.I. 保有のDVD

Main Camera

Microphone

▲照明

■多彩な作品

映画を制作するサークルは同志社で唯一であり、引退した4年生を含めると部員は50人を超える。製作の出発点は、監督が書く脚本だ。俳優、カメラ、音声、照明、スケジュール管理……多岐にわたる役職を募り、製作陣が結成される。撮影期間は数か月、完成する作品の長さは10分の短編から2時間に及ぶ大作まで様々だ。最近では『鉄鎖』が後者にあたり、烏丸御池にある映画館「アップリンク京都」で上映されていたという。今はyoutubeで鑑賞可能だそうだ。また、作品群にはMVも含まれている。既存曲の他、他サークルからの依頼を受けて製作したこともあるとか。6月の上映会に向けて製作中の最新作は『秋日和』。4回生の方が脚本・監督を務めているとのことで、公開が待ち遠しい。

同志社交響楽団

1925年の創設から今年で100周年を迎える同志社交響楽団（以下同響）。主な定期公演には同志社大学と立教大学の同立交歓演奏会、定期演奏会、全同志社メサイア演奏会などがあるほか、2023年にはチェコ・プラハへ出向き海外公演を行うなど活発な活動を続けている。

今回お話を伺ったのは3年生の水谷一路（みずたにいちろ）さん。ここからは水谷さんが語る同響の魅力、そして熱い想いをたっぷりとお届けしたい。

■十人十色のオーケストラ

大学オーケストラの魅力の一つに、様々な経歴、経験値、価値観を持った人々が一体となって一つの音楽を作り上げていくことがある。同響に所属する団員は十人十色、個性豊かな奏者たちが集まり、自分自身の世界を広げられる場であるという。「それまで吹奏楽やほかのいろいろな場所で音楽を経験してきた人たちが、一丸となってオーケストラを演奏するのがこの同響です。様々なエッセンスが組み合わさって団員同士が刺激しあえる環境で作り上げていく音楽というのは、今まで経験したことのない新しいものだと日々感じています。」

■同響で見つける新しい自分

同響で音楽の経験を積んでいくことで、過去に想像していた自分とは全く違う現在を生きているという水谷さん。多様な人々が集まるこの環境だからこそ、予想もしていなかった新しいことにチャレンジできる。大学まで音楽経験が全くなかった人が、たった一年で交響曲演奏の舞台に立ったエピソードもあるという。そんな新しい自分を見つけることのできる最高の場なのだと、熱く話す水谷さんの表情は自信と誇りに満ち溢れていた。

■奏者を虜にする壇上の夢

また、演奏会に登壇する際の様子も詳しくお聞きした。

大舞台で奏者たちが抱く感情には特別なものがある。最も印象強いのは演奏が終わったその後。最も印象に残っているのは、とある演奏が終わったその後のことだった。空気を震わせていた音がぴたりと止んで一拍の静寂の直後、観客席から降り注ぐ無数の拍手が奏者たちを包み込んだ時、心の底から「報われた」と感じたという。人生で経験したことのない達成感と感動、喜び。筆舌に尽くしがたいほどの感情が一瞬のうちに押し寄せ、涙が止まらなかったと水谷さんは語る。

自分たち奏者だけではなく、観客、スタッフ、その場にいた誰もが音楽に夢中となり、その時限りの芸術に触れる非日常をぜひ一度体感してほしい。

同志社交響楽団の次の演奏会は6月14日、京都コンサートホールで行われる「第64回同立交歓演奏会」だ。熱い想いを持った奏者たちが作り上げる音楽の音色に触れてみてはいかがだろうか。

同志社交響楽団

出張版 Doshisha Sports アトム

体育会の情報誌「同志社スポーツアトム」がイマ＊イチに出張掲載。
体育会の活躍をイマ＊イチの読者にもお届けします。

◇ボウリング部

2月17～19日、第56回全日本大学個人ボウリング選手権大会が神戸六甲ボウル（兵庫県）で開催された。男子の組に同志社からは熊（スポ2）、斉藤（スポ4）、田中（理工4）、岡田（スポ3）、松本（商3）、菅原（商2）、久保（理工1）、吉村（理工1）、植西（スポ1）、伊地知（文1）の10名が出場。熊が予選から首位を独走し、圧倒的な強さで初優勝を果たした。

大会1日目、予選6ゲームが行われ熊は初戦こそ6位だったものの、2回戦で全ゲーム230ピン以上のスコアを記録し、一気に首位へ浮上。2日目も好調を維持し、全ゲームで190ピンを超える圧巻の投球を披露し、2位との差をおよそ100ピンに広げた。斉藤も265ピンを記録するなど奮闘し、6位で最終日へ臨んだ。

▲ストライクを狙う熊

最終日は準決勝6ゲーム、決勝3ゲームが実施。「残り9ゲーム何があるかわからない」と話す熊だったが、準決勝でも勢いは止まらず、279ピンを記録するなど安定した投球を続けた。準決勝終了時には2位との差を300ピン以上に広げ、堂々の1位で決勝に進出。一方、斉藤はレーンコンディションに苦戦し、最終的に16位で準決勝を終えた。

迎えた決勝戦。熊は1ゲーム目で244ピン、続く2、3ゲーム目も200ピン超えをマークし、トータルスコア4950ピンで全日本選手権覇者となった。2位との差は歴代最大の244ピン。「団体戦で残った課題を克服して今大会を優勝できたことは自信につながる」（熊）と語り、来季へ向けさらなる成長を誓った。

第53回と第54回に個人選手権2連覇を成し遂げ、同志社の黄金時代を築いた斉藤。「正直とても悔しい」と今大会を振り返るも、昨年度は主将として18年ぶりの団体優勝を成し遂げるなど多くの偉業を達成した。「楽しく投げる大切さや、どれだけ辛くても諦めないことを学んだ4年間だった」（斉藤）。来年度からは実業団に所属し、新たな舞台で同志社と対峙することになる。仲間からライバルへ。新たな挑戦が始まる。

▲投球する斉藤

◇ボードセイリング部

▲ポーズをとる齋藤

2月22～24日、和歌山セーリングセンターで2024年度全日本学生ボードセーリング選手権大学対抗戦が行われた。同志社からは齋藤（政策4）、船越（商4）、稲継（文情4）、谷山（経4）、森居（社4）の5名が出場。10年連続入賞を目指したが、団体戦は12位に終わった。しかし、個人としては齋藤が自身初のインカレ優勝を達成。和歌山の海を圧倒的な走りで駆け抜けた。

大会は悪天候の影響で3日間で5レースのみの実施。最大風速12m以上の強風の中で始まった初日、齋藤が2位。続く第2レースではトップフィニッシュを決め、個人首位に立った。一方で船越は50位、森居は規定時間内にゴールできず苦戦を強いられる。

2日目は無風状態となり、レース開始が4時間遅れる中、齋藤が9位でフィニッシュし、個人2位に後退。船越は28位と巻き返し、稲継も復帰し32位で終えた。しかし続く第4レースでは全員が思うように順位を上げられず、団体戦は10位で最終日を迎える。

迎えた最終日、雪が降る悪天候の中で第5レースが行われた。個人首位を狙う齋藤は、序盤3位につけると得意の下りでスピードをあげ、見事1位でゴール。「個人的な話をするとインカレで優勝したことがなくて、最後の大会で優勝できたことは嬉しい」（齋藤）。団体戦では入賞を逃したものの、齋藤は個人優勝を果たし表彰台に立った。

4年生にとって最苦難の連続だった今大会。しかし彼らの戦い抜いた姿は、後輩たちに着実に受け継がれた。「一つのところに向かって頑張れる子達が揃っているから本当に自分たちの目標を見失わず頑張ってほしい」（稲継）。同志社ボードセイリング部は、新たな航海へと歩みを進める。後輩たちが先輩たちの想いを胸に、次なる舞台で躍動することを願いたい。

▲ゴールに向かう船越

文化系公認団体 EVENTスケジュール

IN MAY 2025

SAT 10
能楽部狂言会「皐月狂言会」
↘@寒梅館ハーディーホール　/　開場 13：30　/　開演 14：00
入場無料（事前予約不要）

SAT 17
同志社大學應援團「硬式野球 春季同立戦前夜祭」 外
↘@京都市東部文化会館　/　開場 13：30　/　開演 14：00
入場無料（事前予約不要）

マンドリンクラブ「第186回定期演奏会」 外
↘@長岡京記念文化会館　/　開場 17：00　/　開演 18：00
入場料 500円（未就学児無料・事前予約不要）

SAT 24
軽音楽部「 The University of Texas Austin校との対バン」 外
↘@ALWAYS-umeda　/　開場 17：30　/　開演 18：00
入場料 2,000円+1drink（事前のチケット購入が必要）
チケット情報▶@jazz_univ_doshisha（Instagram）で案内

SAT 24 · SUN 25
同志社大學應援團「硬式野球 春季同立戦本戦」 外
↘@わかさスタジアム京都　/　13：30 プレイボール予定
入場料 一般 1,200円 / 学生 600円 / 同志社大学生 無料（事前予約不要）

SUN 25
同志社アニメーション・ヴォイス研究会「前田佳織里&相良茉優トークショー in 同志社大学」
↘@寒梅館ハーディーホール　/　開場 14：00 /　開演 15：00
入場料 3,000円（事前のチケット購入が必要）
チケット▶https://eplus.jp/

学生混声合唱団C.C.D.「 関西学生混声合唱連盟第56回定期演奏会」 外
↘@豊中市立文化芸術センター大ホール　/　開場 15：00　/　開演 15：30
入場料 事前予約・当日券ともに1,000円
チケット▶http://teket.jp/8872/45608

THU 29 ~ JUNE MON 02
写真同好会「関関同立写真連盟合同写真展」 外
↘@イロリムラ（大阪市北区中崎1丁目4番15号）/ 開場 12:00〜19:00（最終日18:00まで）
入場無料（事前予約不要）

FRI 30
喜劇研究会「5月ライブ」
↘@寒梅館クローバーホール　/　開場 12：15　/　開演 12：45
入場無料（事前予約不要）

外 ……学外で実施されるイベント

予定は変更される可能性がございます。最新の情報はD-Liveにてご確認ください。
問い合わせは各団体の問合せフォームより送信をお願いします。

D-Live：

IN JUNE 2025

SUN 01
同志社大学邦楽部「京都学生三曲連盟定期演奏会」
↘@寒梅館ハーディーホール　/　開場 15：00　/　開演 15：30
入場無料（事前予約不要）

SAT 14
F. B. I.「6月上映会」
↘@寒梅館クローバーホール　/　開場 10：00　/　上映 10：30〜18：00（入退場自由）
入場無料（事前予約不要）

同志社ミステリ研究会「阿津川辰海講演会」＊講演会後サイン会あり 外
↘@キャンパスプラザ京都４階第三講義室　/　開場 13：00　/　開演 13：30
入場料 500円（当日お支払い）　/　完全予約制（先着150名）
チケット▶https://x.gd/MqQW8

同志社交響楽団「第64回同立交歓演奏会」 外
↘@京都コンサートホール　/　開場 17：00 /　開演 18：00
入場料 S席1,500円 / A席1,200円 / 学生席800円（事前のチケット購入が必要）
チケット（京都コンサートホールHPから購入）▶https://x.gd/rdR5O
チケット（teket[テケト]から購入）▶https://teket.jp/7442/46426

SUN 15
能楽部金剛会「第63回金剛流学生能楽連盟自演会」 外
↘@金剛能楽堂　/　開場 12：00　/　開演 13：00（入退場自由）
入場無料（事前予約不要）

ピアノ研究会「第62回定期演奏会」
↘@寒梅館ハーディーホール　/　開場 13：00　/　開演 13：30
入場無料（事前予約不要）

SAT 21
軽音楽部「京都四大学対バン」
↘@寒梅館ハーディーホール　/　開場 15：30　/　開演 16：00
入場無料（事前予約不要）

SUN 22
学生混声合唱団C.C.D.「第62回早稲田大学混声合唱団×同志社学生混声合唱団C.C.D.交歓演奏会」 外
↘@豊中市立文化芸術センター大ホール　/　開場 14：00 /　開演 14：30
入場料 前売 800円 / 当日 1,000円 / 高校生以下無料
チケット▶http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2508894

IN JULY 2025

FRI 04
喜劇研究会「7月ライブ」
↘@寒梅館クローバーホール　/　開場 12：15　/　開演 12：45
入場無料（事前予約不要）

SUN 13
同志社混声合唱団こまくさ「サマーコンサート2025」 外
↘@八幡市文化センター大ホール　/　開場 13：30　/　開演 14：00
入場料 1,000円（事前予約不要）

SAT 19
同志社大學應援團吹奏楽部「サマーコンサート2025」
↘@寒梅館ハーディーホール　/　開場 17：00　/　開演 17：30
入場無料（事前予約不要）

火曜日には名作を観よう！

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館クローバーホールでも映画上映を中心とした催しを開催

会場　**寒梅館クローバーホール**（今出川校地　寒梅館地下１階）
料金　**入場無料**（一般入場可）

CLOVER THEATER

◎開場は各回 15 分前

～映画史上の名作連続上映～

詳細はこちら

名作コメディ～キートンとチャップリン

5 月 13 日（火）
① 16:30『キートンのセブン・チャンス』
② 18:30『キッド』

6 月 17 日（火）
① 16:30『キッド』
② 18:30『キートンのセブン・チャンス』

映画の教科書～セルゲイ・エイゼンシュテイン

5 月 20 日（火）
① 15:30『戦艦ポチョムキン』
② 17:30『イワン雷帝』

6 月 24 日（火）
① 15:00『イワン雷帝』
② 19:00『戦艦ポチョムキン』

映画の古典～ F・W・ムルナウ

5 月 27 日（火）
① 16:30『最後の人』
② 18:30『吸血鬼ノスフェラトゥ』

7 月 1 日（火）
① 16:30『吸血鬼ノスフェラトゥ』
② 18:30『最後の人』

完璧主義者～エリッヒ・フォン・シュトロハイム

6 月 3 日（火）
① 16:00『愚かなる妻』
② 18:30『グリード』

7 月 8 日（火）
① 15:30『グリード』
② 18:30『愚かなる妻』

映画の神秘～カール・テオ・ドライヤー

6 月 10 日（火）　音声に難あり
① 16:00『ヴァンパイア』
② 18:30『裁かるるジャンヌ』

7 月 15 日（火）
① 17:00『『裁かるるジャンヌ』
★上映後、アフターレクチャーあり
講師：北小路 隆志氏
（映画批評家 / 京都芸術大学芸術学部教授）

主催・お問合せ　同志社大学今出川校地学生支援課 TEL 075-251-3217（ホール担当）　E-mail ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp

＊諸事情により内容が変更になる可能性がございます。ご了承ください。＊ホール内は飲食禁止です。ご了承ください。
＊ご来場の際は公共交通機関をご利用ください（駐車場・駐輪場はございません）。＊未就学児の入場はご遠慮ください。
＊場内誘導、座席の確保等について、特別な配慮をご希望の方は開催日の10日前までにお知らせ下さい。
できる限りの対応を取らせて頂きます。

フォローお願いします！

木曜日には何かがある！

木曜日には何かがある！　を合言葉に 開講期間中の毎週木曜日
寒梅館ハーディーホールにて 映画上映やコンサートなど様々なプログラムを開催します

会場　**寒梅館ハーディーホール**（今出川校地　寒梅館地下１階）
料金　**同志社大学学生・教職員**（法人内各学校含む）**無料**
一般 1000 円、Hardience 会員・他大学生 500 円

WHAT'S ON THURSDAYS=WOT（ワット！!）

全て 2 回上映 ①15:00 ②18:30

◎開場は各回 30 分前

同志社とアニメーション

『ゆびさきと恋々』
A Sign of Affection　★日本語字幕付き
5 月 8 日（木）Sign.1～Sign.4
5 月 15 日（木）Sign.5～Sign.8
5 月 22 日（木）Sign.9～Sign.12

© 森下 suu・講談社／ゆびさきと恋々製作委員会

『めくらやなぎと眠る女』
Blind Willow, Sleeping Woman
①日本語吹替②英語版、日本語字幕
5 月 29 日（木）

© 2022 Cinéma Defacto – Miyu Productions • Doghouse Films – 9402-9238 Québec inc. (micro_scope – Productions 1 unité centrale) – Ain Original Pictures – Studio Ma – Arte France Cinéma – Auvergne-Rhône-Alpes Cinéma

日・EUフレンドシップウィーク　フィンランドの名匠アキ・カウリスマキ特集

共催　同志社大学図書館

『枯れ葉』
原題：*Kuolleet lehdet*
★日本語字幕付き
6 月 5 日（木）

©SPUTNIK OY 2023、Photo: Malla Hukkanen

18:30 上映後
作品解説レクチャー開催！
講師：北小路 隆志氏
（映画批評家 / 京都芸術大学芸術学部教授）

『過去のない男』
原題：*Mies vailla menneisyyttä*
★日本語字幕付き
6 月 12 日（木）

©SPUTNIK OY

二十一世紀の日本映画傑作選

『悪は存在しない』
Evil Does Not Exist
★日本語字幕付き
6 月 19 日（木）

©2023　NEOPA / Fictive

『Cloud クラウド』
★日本語字幕付き
6 月 26 日（木）

©2024「Cloud」製作委員会

『きみの鳥はうたえる』
And Your Bird Can Sing
7 月 3 日（木）

©HAKODATE CINEMA IRIS

詳細はこちら

能登半島地震被災地支援ボランティアプログラム

REPORT

2025年3月7日（金）～8日（土）に、キリスト教文化センター・ボランティア支援室の共催で能登半島地震被災地支援ボランティアプログラムを実施しました。参加学生13名と引率教職員4名合わせて、17名が活動しました。

事前研修会

3月4日（火）に同志社礼拝堂（今出川校地）にて、参加学生と引率教職員の顔合わせも兼ねた事前研修会を実施しました。今回活動を行う被災地域の被害状況を知ることに加えて、キリスト教文化センター准教授の森田先生より、これまでの支援のご経験のもと、現地の様子についてなどを講話いただきました。また、当日の活動についての詳細や持ち物についても説明し、最後は参加学生より一言ずつ意気込みを共有しました。

プログラム1日目 卒業生との交流

宿泊地である国立能登青少年交流の家にて、本学社会学部の卒業生で、2024年12月に石川県輪島市に移住された狭間明日実さんと交流しました。はじめに狭間さんから移住に至るまでのエピソードをご紹介いただき、続いて移住後の印象深い出来事や現地の方からの言葉などをご紹介いただきました。講演後は、2グループにわかれて感想を共有し、質疑応答をしながら狭間さんとの交流を深めました。

プログラム2日目 被災地域での活動

北陸学院大学のコーディネートのもと、被災地域である輪島市門前町でのボランティア活動を行いました。活動では、作付けを直前に控えた畑の整備や、公費解体予定の住宅周辺の清掃、用水路の清掃や、バラ園整備などを午前中に行いました。昼食では、地元での郷土料理であるとり汁を、地域住民の方が振舞ってくださいました。

午後からは仮設住宅へ移動し、玄関前や廊下となるところに敷いている藁菰（わらこも）を剥がす作業を行いました。仮設住宅の素材が、特に雪が積もった時に滑りやすい素材となっており、住民の方が滑って転ばないように、以前にボランティアの方で敷かれたそうです。水分を含んだ藁は想像以上に重く、一つ一つ剥がすのにとても時間がかかりました。

作業をしていると、住民の方が外へ出てきて「ご苦労様です」「ありがとう」といった声をかけてくださることもありました。

事後振り返り会

同志社礼拝堂にて、3月27日（木）に事後振り返り会を行いました。活動を通して感じたことや気づいたこと、また戸惑ったことなどを共有し、今回の経験をどのように活かすことができるか、参加学生同士で意見交換を行いました。最後はキリスト教文化センター准教授の李先生による隣人愛についての講話があり、お祈りで締めくくりました。

参加学生の声

・実際に現地に行って、実際に倒壊した家屋やあたりまえの生活が奪われてしまった現状を見て心が痛みました。そこからあたりまえの生活がおくれているありがたさ、そしてボランティアなどの支援の大切さを学びました。

・私たちにできることは確かに小さいかもしれないが、能登半島に関心を持ち続けることも支援の1つだと思うので、今後も注視していきたいと思います。

被災された地域住民の方の生活が少しでも前に向くよう、何かしたいと思いを持った学生と共に、2025年度もできることを継続して行っていきたいと思います。

ボランティア支援室では、他にも活動に関する情報を発信しています。

HP

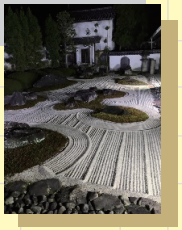
DOSHISHA_VOLUNTEER

上京区内イベントのお知らせ

同志社大学がある京都市上京区では、様々な地域行事があり、このページではオススメのイベントをご案内します。同志社大学生のみなさんは、参加者としてまた、時には運営側のお手伝いとして参加してみませんか？

INFORMATION

まるごと美術館　2025年春



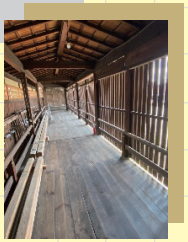
5/1 ～/31

寺社仏閣の特別拝観と合同で開催する春の展覧会です。寺宝やアート作品、伝統工芸品の展示を行うとともに、ライトアップなどを実施します。
まるごと美術館は春と秋の年間２回、展覧会を行っています。「まちを盛り上げたい」という想いから立ち上がった取り組みです。既に終了しているお寺もありますが、この機会に大学近くの寺社を巡ってみてはいかがでしょうか。

＜まるごと美術館　2025 年春＞

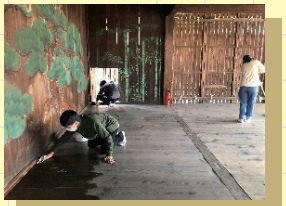
期間：2025 年 5 月 1 日（木）～ 31 日（土）　昼の部 10 時～ 16 時
会場：妙覺寺（京都市営地下鉄烏丸線『鞍馬口』駅下車 西へ徒歩約 10 分）
拝観料：800 円（小学生以下無料）

今宮神社御旅所　能舞台清掃



毎月 第3日曜

今宮神社御旅所にある能舞台を復活させ、活用し、守り続けていくため、月に一度お掃除をし、今後の活用方法などを話し合われています。
地域の方や学生の他、誰でも参加でき、清掃活動後にはお茶を飲みながら、参加者同士の交流なども行われています。毎月参加できなくとも、参加できる月のみでも大丈夫です。
お掃除をきっかけに、様々な方との出会いや交流を深めるきっかけにしてみませんか？能舞台を間近で見れるチャンスです！



＜今宮神社御旅所　能舞台清掃＞

日程：毎月第３日曜日　10 時～ 12 時
会場：今宮神社御旅所（「大徳寺前」から徒歩 5 分 「今出川大宮」から徒歩 15 分）
備考：神域へ上がるため、白い靴下を必ず着用ください。
申込：不要（御旅所へ直接集合ください）
※5 月 18 日の活動のみ、人数把握のために右記 QR コードより
　お申込みください。6 月以降は申込不要。

お問合せ：同志社大学今出川校地学生支援課

CAMPUS INFORMATION

寒梅館アトリウムコンサート

5月19日(月)20日(火)21日(水)12:15～13:10

入場無料

出演団体
グリークラブ、混声合唱団こまくさ、学生混声合唱団C.C.D.
コールメイプル、ピアノ研究会、交響楽団、邦楽部
♪日毎に出演団体が異なります

寒梅館1階アトリウムでのランチタイムコンサートです。ピアノや楽器、琴などの和楽器の演奏、合唱などの学生団体が出演します！ぜひ気軽にお越しください。

CLAP くらっぷ

寒梅館たなばた芸術祭

7月6日(日) 開演 14：00
開場 13：30
寒梅館ハーディーホール
入場無料

フラダンス、音楽、演劇のイベントです！
同志社大学の公認団体と学生支援課主催ワークショップ参加メンバーが出演します。
各20分～30分程の時間枠で楽しんで頂けます。
ぜひお越しください！

出演団体

コールフリューゲル（混声合唱）

Meahula Nohealani（フラダンス）

交響楽団（アンサンブルでの出演）

CLAP 演劇ワークショップ参加メンバー

・ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。（一般用の駐車場、駐輪場はございません）
・場内誘導、座席の確保について特別な配慮をご希望の方は開催日 10 日前までにお知らせください。できる限りの対応をいたします。

お問合せ 今出川校地学生支援課ホール担当 Tel:075-251-3217 Mail:ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp

読者プレゼント

5 月号の感想を送っていただいた読者の皆様から、
抽選で 2 名様に「nekonohige cake studio」様の猫のブローチを
ランダムにプレゼントいたします。

下記の QR コードからでも
簡単に応募できます！

メールアドレス（imaichi2025@gmail.com）に
① お名前
② ご住所・郵便番号
③ 年齢（任意）
④ イマ＊イチ 5 月号を入手された場所
⑤ イマ＊イチ 5 月号で 1 番よかったページとその理由
⑥ イマ＊イチ 5 月号全体を通してのご感想 (任意)
⑦ 今後のイマ＊イチに期待すること (任意)
を明記の上、お送りください。

締め切り：**2025 年 5 月 31 日**まで

メッセージ

2025年度のイマ＊イチ編集長に就任いたしました、鳥井麻衣と申します。読者の皆さまと編集部が一緒に楽しめる、そんなフリーペーパーを目指して一年間邁進して参ります。どうかよろしくお願いいたします。

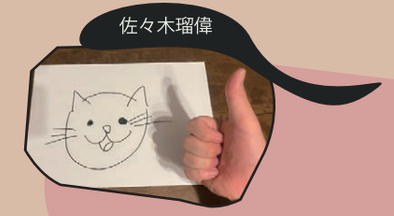
発行日：2025 年 5 月 1 日

発　行：同志社大学　学生支援機構
今出川校地学生支援課
075-251-3270

編　集：同志社大学広告研究会 add’s

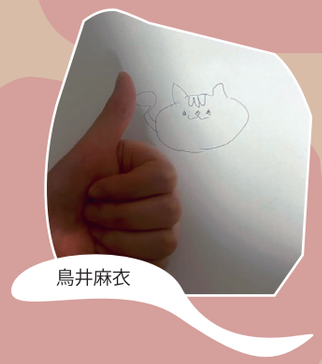
イマデガワでイチバンの地域情報誌
イマ＊イチ

イマ＊イチ編集部直筆！ 利き手じゃない方で 私の ちゃん


佐々木瑠偉

都築玲子

谷山茉優


鳥井麻衣

杉本恵

西村涼葉

岩本花梨

安藤舞音

森遥

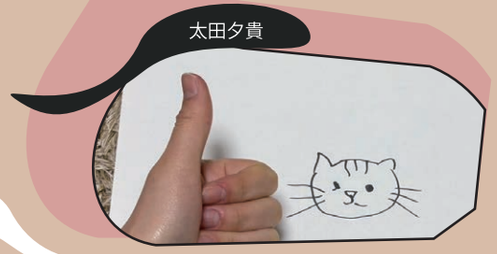
村元柚月

柳澤茉乃

勉葉美海

上村杏

藤田真帆


太田夕貴

イマ＊イチ

「今出川で過ごす人」
のための
フリーマガジンだニャ

各種 SNS はこちらから！

@IMA_ICHI_

Instagram

X（Twitter）